この表において、Fj及びFfjは、それぞれ次の数値を表すものとする。

Fj　膜材料及びテント倉庫用膜材料の膜面の定着部の実況に応じた引張試験によって求めた引張強さ（単位　ニュートン）

Ffj　膜構造用フィルムの膜面の定着部の実況に応じた引張試験によって求めた引張強さ（単位　ニュートン）

二　膜面を袋状にした膜構造用フィルムの内部の空気圧を高めることにより当該膜構造用フィルムに張力を導入するものとする場合において、暴風時の構造計算をするに当たっては、短期に生ずる力に対する定着部の引張りの許容応力度は次の表に掲げる許容耐力を膜面の定着部の種類及び形状に応じて求めた有効断面積で除した数値とすることができる。

短期に生ずる力に対する引張りの許容耐力（単位　ニュートン）
$\frac{2.4Ffj}{3}$

この表において、Ffjは、前号の表に規定する膜構造用フィルムの膜面の定着部の実況に応じた引張試験によって求めた引張強さ（単位　ニュートン）を表すものとする。

5　第一項第三号の長期に生ずる力又は短期に生ずる力に対する各許容応力度のうち、可動式膜面の部分の直下にある土台に用いるレールの支圧の許容応力度は、次の表の数値によらなければならない。

長期に生ずる力に対する支圧の許容応力度（単位　一平方ミリメートルにつきニュートン）	短期に生ずる力に対する支圧の許容応力度（単位　一平方ミリメートルにつきニュートン）
$\frac{10HBW}{\nu}$	$\frac{15HBW}{\nu}$

この表において、HBW及びνは、それぞれ次の数値を表すものとする。

HBW　ＪＩＳ　Ｚ二二四三（ブリネル硬さ試験―試験方法）―一九九八に定めるブリネル硬さ試験方法により求めたブリネル硬さ

ν　次の式によって計算した数値

$$\nu = 2\left(\frac{HBW^2}{900{,}000} + 1\right)$$

三　可動式膜面の部分の直下にある土台に用いるレールの支圧の許容応力度は、次の表の数値によらなければならない。

長期に生ずる力に対する支圧の許容応力度（単位　一平方ミリメートルにつきニュートン）	短期に生ずる力に対する支圧の許容応力度（単位　一平方ミリメートルにつきニュートン）
$\frac{10HBW}{\nu}$	$\frac{15HBW}{\nu}$

この表において、HBW及びνは、それぞれ次の数値を表すものとする。

HBW　ＪＩＳ　Ｚ二二四三（ブリネル硬さ試験―試験方法）―一九九八に定めるブリネル硬さ試験方法により求めたブリネル硬さ

ν　次の式によって計算した数値

$$\nu = 2\left(\frac{HBW^2}{900{,}000} + 1\right)$$